

立 候 補 所 信

私は、平成 14 年（当時 25 歳）に埼玉県行政書士会に入会しました。行政書士専門として今年で業務歴 23 年目を迎えます。私たち行政書士を取り巻く環境も近年で大きく変化しました。

その最たるものとして、デジタル社会の形成は行政書士業務の電子化だけでなく、A I 技術の進展により、行政書士の未来像も新たに検討していかなければなりません。まさに今が時代の転換点であり、これまで以上に「**変化に対応できる力**」が求められます。

行政書士会は職能団体です。各業務分野の専門家はもう十分にいます。会の責任者として本当に必要とされるのは、各業務分野の垣根を超えて結び合わせ、組み合わせ、統合していく「**スーパージェネラリスト**」としての役割と、困難や状況を乗り越える力「**突破力**」であると考えます。

会員のため、行政書士制度の周知に努め、職域拡大に資するとともに、業務知識の補充と会員相互の親睦を図り、会員各位がより信頼される行政書士として広く活躍できることを視野に、以下の施策を実現して参ります。**できない理由ではなく、できる方法を追求します！**

■安定した組織、公平・公正な会務運営、安心して業務に取り組める環境整備

事務局体制の安定と充実が会員サービスの充実に直結します。総務部長・支部長経験者として、細かなところから丁寧に対応し、改善して参ります。支部活動の活性化のため、支部長の悩みである研修テーマや講師選定の支援をします。私の会務の原点である監察活動を重点的に行い、会員の皆様が安心して業務に取り組めるよう環境整備します。会として、会員を守り抜く覚悟です。

■業務受託の推進

「官から民へのアウトソーシング」の流れの中、会として積極的なアプローチをし、従事した会員に還元します。また、金融機関や商工団体との業務提携を推進し、行政書士の存在を周知します。

■会員事務所共済システムの構築

想定外のアクシデントや大規模自然災害等に見舞われ、事務所の業務遂行が困難となった場合における会員事務所共済システムについて研究し、システムを構築します。

■特定行政書士制度への対応

埼玉会の会員は全国的にも特定行政書士に対する関心が高いです。実務家や研究者によるブラッシュアップ研修を実施します。また、考査対策を実施し、会員の特定行政書士への機運をより一層高めて参ります。

■デジタル社会に順応する行政書士を目指して

技術革新の戦国時代であり、激変する環境においては、それにいち早く対応した者だけが勝者となります。正しく理解するため、実務家や事業者による研修会、体験型の研修会を企画します。

■あらゆる広報活動で更なる埼玉会の魅力を全国へ発信

各種媒体を活用し、戦略的な広報活動を展開して参ります。岩槻高齢者講習センターは警察機関内における常設相談ブースとしては全国初です。これを軌道に乗せ、広報活動・社会貢献活動の拠点としての役割を定着させます。あらゆる広報活動を通じて、埼玉会の存在を全国に発信します。

「人生で与えられる経験には、すべて深い意味がある。」と覚悟を決めて埼玉会総務部長に就任したのが 4 年前でした。支部長との兼任でもあり、大変貴重な経験をさせていただきました。偏に「会員のために」という強い思いで、日々必死に前を向いて会務に取り組んで参りました。これまでの知識と経験を十分に生かし、会員目線の運営を心掛けて会を牽引していく所存ですので、会員皆様のご支持、ご理解のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。